救急車要請時の対応について

長崎市消防局　指令課
指令１・２係
TEL：095-822-0461（直通）

研修内容

・過去１０年間の救急件数と高齢者救急傷病者数

・１１９番通報時の指令員とのやり取り（通報要領・口頭指導）

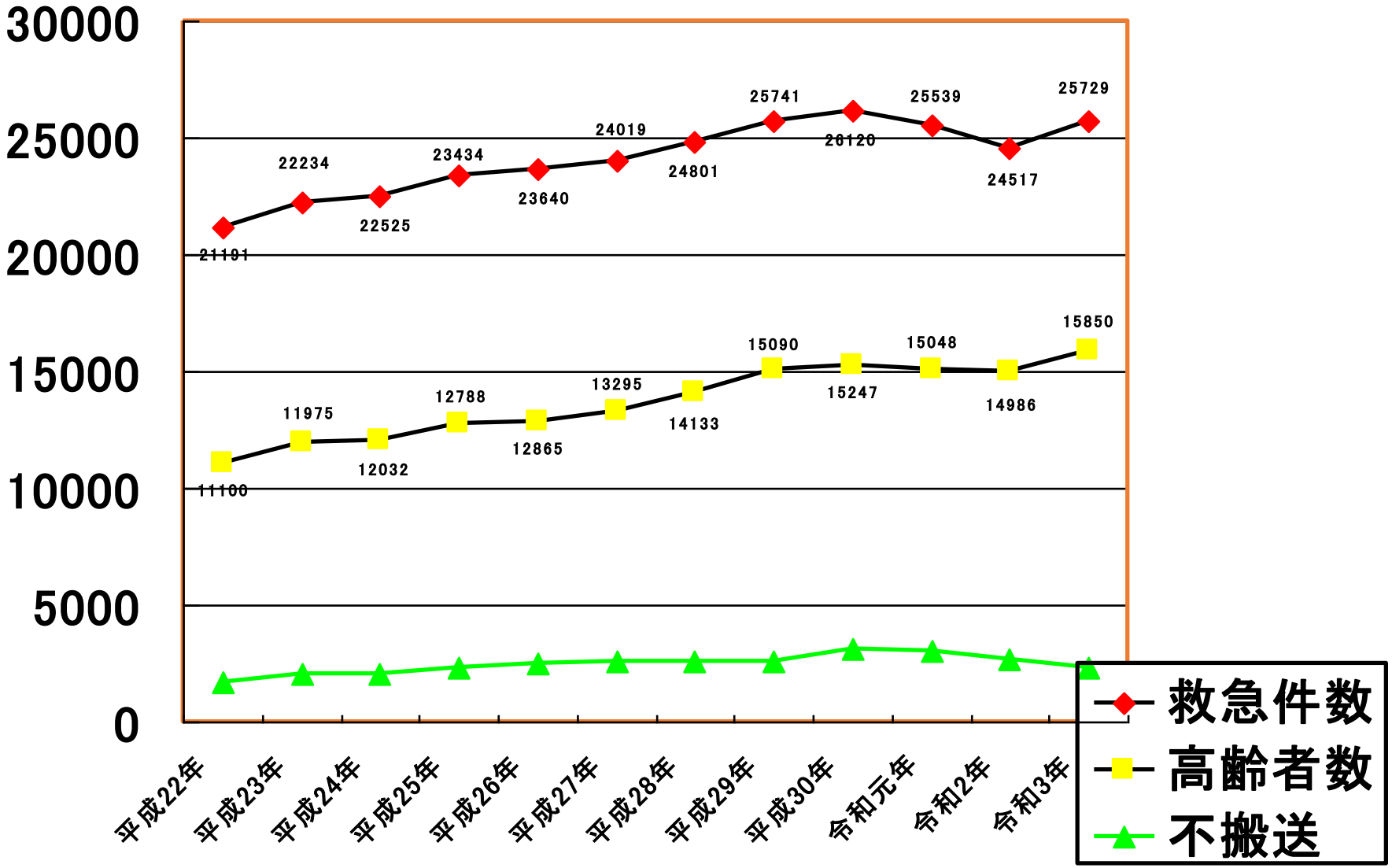
・応急手当要領

・コロナ禍における心肺蘇生法説明動画（ＱＲコード・リンク）

・ＮＥＴ１１９緊急通報システムのご利用案内

・救急隊へ渡す情報提供書の事前作成について

過去10年間の救急件数と高齢者救急傷病者数



119番通報時の指令員とのやりとり①（通報要領）

火事の場合（建物火災の例）	救急の場合（急病の例）
通報者 119番する。 消 防 「火事ですか。救急ですか。」 通報者 「火事です。」 消 防 「場所はどこですか。」 通報者 「〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇です。」 消 防 「その建物は何階建てですか。燃えているところは何階ですか。」 通報者 「〇階建ての〇階が燃えています。」 消 防 「逃げ遅れた人はいませんか。」 通報者 「逃げ遅れは今のところわかりません。」 消 防 「近くに目標となる建物はありますか。」 通報者 「〇〇〇〇の近くです。」 消 防 「わかりました。あなたの名前と電話番号を言ってください。」 通報者 「私は〇〇です。電話は〇〇〇-〇〇〇〇です。」	通報者 119番する。 消 防 「火事ですか。救急ですか。」 通報者 「救急です。」 消 防 「場所はどこですか。」 通報者 「〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇の前です。」 消 防 「どうされましたか。」 通報者 「急に60歳位の男性が倒れました。」 消 防 「意識はありますか。けがはしていませんか。」 通報者 「意識はあります。けがはしていませんが動けないようです。」 消 防 「近くに目標となる建物はありますか。」 通報者 「〇〇〇〇の近くです。」 消 防 「わかりました。あなたの名前と電話番号を言ってください。」 通報者 「私は〇〇です。電話は〇〇〇-〇〇〇〇です。」

あわてず、落ち着いて 正確な場所を伝えましょう！

■問い合わせ 消防局指令課 【電話】822－0461

１１９番通報時の指令員とのやりとり②（口頭指導）

通報の内容に応じて指令員が
口頭で応急手当の要領を説明します。

【応急手当】

- 心肺蘇生法
- 気道異物除去法（窒息解除）
- 止血法　　等

応急手当要領①

Ⅰ．成人、小児、乳児の心肺蘇生法

①周囲の安全確認後、反応を確認

「大丈夫ですか！」

反応を確認する

何らかの応答や目的のある仕草がなければ「反応なし」

「誰か来て！」「１１９通報とＡＥＤを！」

大声で叫び応援を呼ぶ

１１９番通報とＡＥＤの手配を依頼する

※救助者が１人だけのときは、自分で 119 番通報を行ない、ＡＥＤ（近くにあれば）を取りに行く。（119 番の通信指令員が応急手当を指導してくれます。）その後、心肺蘇生を開始する。

②反応がなければ･･･呼吸の確認（心停止の確認）

呼吸はあるか？

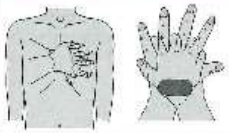
普段どおりの呼吸があるかどうか観察

呼吸は胸と腹部の動きを見て「普段どおりの呼吸かどうか」を 10 秒以内で確認する。

「普段どおりの呼吸」がない場合、特に死戦期呼吸（いわゆる喘ぎ呼吸）を認める場合は心停止とみなす。

③胸骨圧迫の実施

「普段どおりの呼吸」がない場合は心停止とみなし、胸骨圧迫から開始し胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回の組み合わせを速やかに開始する。

胸骨の圧迫位置	手の置き方	圧迫の仕方
		
胸の真ん中(左右の真ん中で、かつ、上下の真ん中)	一方の手のひらのつけねをあて、その手の上にもう一方の手を重ねる。	肘をまっすぐ伸ばし、垂直に体重をかける。体重は手のひらの付け根だけにかけ圧迫する。 圧迫解除時は、胸が元の位置に戻るように十分に圧迫を解除する。

・交代可能な場合には、たとえ実施者が疲れを感じていない場合でも、1～2分間を目安に交代することが望ましいが、交代による中断時間をできるだけ短くする。

対　象	圧迫の部位	圧迫の方法	圧迫の程度	圧迫の速さ	回　数
成　人	胸の真ん中	両手で	約5cm（6cm以上圧迫しない）	100～120回/分	胸骨圧迫：30回 人工呼吸：2回 の繰り返し
小　児（1～15歳程度）		両手又は体格に応じて片手で行う	胸の厚さの約1/3沈み込む程度に圧迫		
乳　児（1歳未満）		指2本で			

小児・乳児に対する胸骨圧迫の要領

小　児

両手又は片手の付け根だけで圧迫

乳　児

指２本で圧迫

④気道の確保・口対口 人工呼吸・・・胸骨圧迫30回のあとに

○外傷の有無に関わらず、気道確保は頭部後屈あご先挙上法で行う。
○片手をひたいにあてる。
○他方の手の人差し指と中指の2本をあご先の骨のある硬い部分に当てて持ち上げる。

⑤人工呼吸の実施

息を吹き込む

○気道の確保をしたまま鼻をつまみ、ひたいに当てていた手の親指と人差し指で鼻をつまむ。
○大きく口を開けて相手の口をおおい、約1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を2回吹き込む。（口対口、口対口鼻人工呼吸を行う際には、できれば感染防護具を使用することが望ましい）

⑥２回の人工呼吸が終わったら・・・再び胸骨圧迫

２回の吹き込みを試みたら（うまくできなかった場合でも）、直ちに胸骨圧迫を再開する。

⑦心肺蘇生はいつまで続行するか

救急隊などに引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで続ける。

応急手当要領②

Ⅱ.ＡＥＤの使いかた（電気ショック）

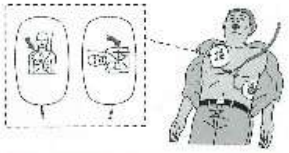
① ＡＥＤを持ってくる

②反応・普段どおりの呼吸がなければ、ＡＥＤの電源を入れる。

ボタンを押すか、フタを開ける。

③電極パッドを貼る

袋を開封して電極パッドのシールをはがし、図のとおり、皮膚に直接しっかりと貼り付ける。
（その後、ソケットを差込む機器もある。）



注意事項

★未就学児(およそ6歳未満まで)に対しては、小児用パッドや小児用モードを使用します。未就学児及び乳児に対して、小児用パッドがないなどやむを得ない場合、成人用パッドを使用します。
★濡れている場合は、タオル等で拭き取る。
★貼り薬が貼られている場合は、はがしてから薬剤を拭き取る。
★心臓ペースメーカーや除細動器が胸の皮膚の下に埋め込まれている場合は、膨らみから離してパッドを貼り付ける。
★小学生や中学生以上には成人用パッドを使用してください。小児用では不十分。

④心電図を解析する

電極パッドを貼り付けると傷病者から離れるように又は解析ボタンを押すようにメッセージが流れ、解析が始まる。(誤作動の原因となるので、決して傷病者に触れない。)

解析と電気ショック時は傷病者に触れない

⑤除細動（電気ショック）を行う

除細動の必要があれば充電が開始される。充電完了メッセージの後に点滅しているボタンを押すが、誰も傷病者に触れていないことを確認してから、ボタンを押す。

⑥ＡＥＤのメッセージに従って、心肺蘇生法を続ける

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回のサイクルを約2分間ごとに交代しながら、(交代できる人がいる場合)救急隊などに引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで続ける。

Ⅲ．異物の除去

①反応がある場合の異物除去

成　人　・　小　児		乳児・新生児
腹部突き上げ法	背部叩打法	背部叩打法
・強い咳ができる場合は、傷病者本人の努力に任せる。 ・異物が取れるか反応がなくなるまで、２つの方法を数度ずつ繰り返して続ける。 ・妊娠していると思われる女性や高度な肥満者に腹部突き上げは行わず、背部叩打のみを行う。 ・腹部突き上げ法を実施した場合は、腹部の内臓をいためる可能性から、医師の診察を受ける。		・気道異物による窒息と判断した場合は、ただちに119 番通報（緊急通報)を誰かに依頼した後に、頭部を下げて、背部叩打や胸部突き上げを実施する。 ・腹部突き上げは行わない。 ・異物が取れるか反応がなくなるまで、２つの方法を数度ずつ繰り返して続ける。

②反応がない場合の異物除去

○反応がなくなった場合は、まだ通報していなければ119番通報し、心停止に対して行う心肺蘇生法の手順を開始する。
○心肺蘇生を行っている途中で異物が見えた場合は、それを取り除くが、見えない場合には、やみくもに口の中に指をいれて探らない。また、異物を探すために胸骨圧迫を長く中断しない。

Ⅳ．ファーストエイド(傷病者の体位と移動)

救急隊が到着するまでは、傷病者が望む姿勢にして安静を保ちます。車が通る路上など危険な場所にいる場合は、安全な場所に移動させます。反応はないが普段どおりの呼吸がある場合は、横向きに寝た姿勢(回復体位)にして、気道を確保します。

Ⅴ．ファーストエイド(大出血時の止血法)

きれいなハンカチなどを重ねて傷口に当て、手で圧迫する。直接血液に触れないようにするために、ビニール袋などを利用し、救助者の手を保護する。

コロナ禍における心肺蘇生法説明動画

YouTube 長崎市公式チャンネル

https://youtu.be/EHJLh8C1Axw

長崎市消防局　警防課作成

【ご利用を希望される方は下記のURLにアクセスし登録方法をご確認ください】

https://www.city.nagasaki.lg.jp/bousai/220000/226000/p035697.html

救急隊に渡す情報提供書の事前作成について（お願い）

円滑な救急活動のため、次のフローチャートを参考にし、情報提供書の作成にご協力ください。

事前準備

★救急隊への情報提供書を事前に作成
★かかりつけ医師、協力病院との連携

緊急事態発生

★緊急事態の発生を施設職員に知らせて、発生場所に職員を集めてください。
★集まった職員の役割を分担をしてください。
- ☛119番通報する人
- ☛応急手当（心肺蘇生等）をする人
- ☛AEDを取りに行く人
- ☛救急隊を誘導する人

119番通報

★住所、施設名
★「いつ」「誰が」「どこで」「どうした」のか。
★傷病者の今の状況（呼吸がない、意識がないなど）

応急手当の実施

★速やかに応急手当(心肺蘇生等)を実施してください。
★救急隊(消防隊)が到着するまで継続してください。

救急隊（消防隊）の誘

★傷病者のところへ（部屋等）誘導してください。
★事故の概要を説明してください。
★救急隊への情報提供書を渡してください。

救急隊（消防隊）による救命処置

★事前に搬送先の医療機関を確保している場合は、救急隊にお伝えください。

情報提供

施設職員の同乗

★病院への申し送りが必要となるため、傷病者の状況が分かる　方が救急車に同乗してください。
★受診に必要なもの（お薬手帳、サマリー等）を持参してくだ

救急隊への情報提供書

≪事前記載事項≫　　ご利用者ごとに事前に記載をお願いします。

フリガナ 氏　名		年齢	歳	性別	男　・　女
電話番号		生年月日	明・大・昭・平　　年　　月　　日		
住所					□:施設に同じ
病歴等	現在治療中の病気・ケガ		既往歴（入院歴及び入院先、手術歴等）		
常用服用薬	処方箋等があればコピー添付可		アレルギー 有　・　無		詳細記入 （薬・食べもの）
日常生活	会話	可能・一部可能・不能	歩行	可能　・一部可能・不能	
認知機能	正常・軽・中・重		介護認定	要支援:　１　・　２	
			要介護:　１　・2・３・４・５		未認定
DNAR（蘇生処置の拒否）の意思表示はありますか？			有（本人・家族関係者）　・　無		
			関係者の続柄（　　）		
DNAR（蘇生処置の拒否）に関する書類はありますか？			有　・　無	「有」の場合は用意し救急隊へ提示してください	
かかりつけ医療機関名					
フリガナ 担当医師名			電話番号		
緊急連絡先 （家族等）	フリガナ 氏　名		電話番号	① ②	
	住所			続柄	
自由記載欄					

最終更新年月日　令和　　年　　月　　日　←定期的な更新をよろしくお願い致します。